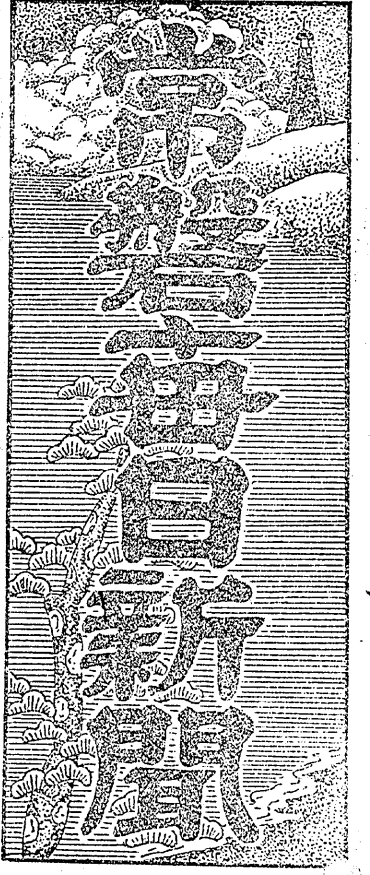


【刊夕】日一十月四



郵五種郵錢十五月一 錢貳金部一 位一
 錢十五行一 語字三十號五 料告廣
 治 文 崎 川 入 刷印人 輯編發 行發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 管〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
 社會式株刷印日每警常 所刷印

カフェー混亂時代

莊 一 路

(四) 併しサロン春の支配人はしばらくこの形勢を傍觀してゐたが決して敗けてゐなかつた。

彼は極東麥酒の競走相手である、大阪麥酒會社に向つて「もしこの儘にしたならば、この町のビールに獨占されてしまふ」と云ふ事を遂一報告した。

支配人は大阪麥酒は新興の會社であり、莫大な宣傳費を惜しまないと云ふ事を決して見逃しはしなかつた。間もなくサロン春の店頭は大坂麥酒の寄贈によつて最も近代的な廣告ネオンサインを以てナンバーワンの人氣を一氣に奪還してしまつた。

ナムバーワンでは亦々珍趣向を凝らした、櫻に先立つて全店内を造花で裝飾し全部の女給には極東麥酒のマークを圖案化した揃ひの花見衣裳を着せ、店内を櫻花の歡樂境と化して、お客を蕩酔せしめた。

無論花見衣裳は極東麥酒の寄贈になつたものである併し支配人は決して抜目はなかつた、彼は衣裳の交換條件として、女給に對しビール五百本の責任額を課した、万一の責任額を賣らなかつた、女給から衣裳代として三十圓徴収する事を申し渡したのだ。

のため十二本のビールを飲ませられ、ぐでんぐでんに酔拂つて夜中の二時頃歸つて行つた。

次の晩。八重子はうつむき加減に悲しそうな表情をしてゐた。「おい君、今夜はどうして沈んでるの?」

「え………」
 彼女は黙まつて目に涙さい浮べてゐた。「僕に出来る事なら、何でもして上げるから話して御覽」

彼女達は花見衣裳を貰つたは、い、が、今度は五百本の重荷に苦勞しなければならなかつた、女給商賣も並大抵ではない。

或晩。
 女給の多美江は一人のサラリーマンらしい男に「ねあんた私、あなたを愛してるのよ」

「ふん」
 客は彼の女に冷笑を浴せた「まあ、あんた随分薄情ね」
 「ふん、そんな古い手には乗らないよ」
 彼は彼女の腹の中をわかりきつてる様な事を云つてるが、結局甘いものだ、彼女

(續)

空は青々とし

太陽は輝いて居る

31年の
 春の御用意は是非私共に

モリタヤ洋品店

5丁目 電話 353

貸切の

御用命は?

獅子吼(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

吉田眼科病院

平野屋町、電話六八番

不思議膏

奇妙に良くくハリダスリ
 神経痛、かたのこり
 うちみ、くぢき、リ

ウマチス、齒痛
 ハツテ御覽なさい
 驚くばかり特効あり

特約店

小野屋薬店

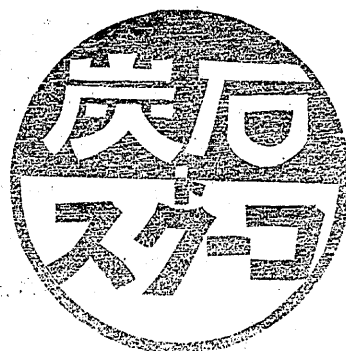
平野町四丁目
 電話一四四四

度量衡、計量器、吸入
 用酸素、酸素吸入器

關内藥局

電話四〇番

ナールほど、是レハ良イ石炭ダ
 良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ
 聞イテ居タガ!
 此レ程マデ良イ石炭トハ



思ハンカツタ
 品ガ良ク
 値ガ安ク
 ナモツトトスル
 石炭ダケ
 アツテ
 經濟的トハ正ニ
 百パーセントダ
 モシ、電話二三七番テスカ
 早く一俵御届ケ下サイ
 平野停車場前

阿部石炭商店

◇配達ハ一俵ヨリ致シマス

銘酒 たひひら正宗

特 價
 二合入 貳拾錢
 四合入 四拾錢
 一升入 壹圓

釀造元山崎合名營業部

電話一〇番

御眞影返還式 厳そかに行はる

濱三郡の各小學校長

本日警中講堂に參集

石城、双葉、相馬三郡下各小學校の御眞影返還式は今日午前十時より平町警中學校講堂に於て各小學校長、各町村長、中村、浪江、四倉、平、植田の各署長代理列席の上嚴かに舉行され同十一時終了した

健康相談所

平町に設置

全國十六箇所の一つ

衆て政府では簡易保険健康相談所設置に就いて全國に候補地を物色中であつたが今回全國十六ヶ所中に平町が選定され近く逡信省令を以て公示されることになつ

櫻花爛漫の下に

表彰される消防手

松ヶ岡のオンパレード

明日百四十七名の榮譽

平署管内四町二十六ヶ村の消防檢閲は既報の如く明日二日舉行されるが當日各町村組中左の百四十七名が模範消防手として表彰される管尙當日は本縣警察部から本田保安課長が來平すると

- △内郷 菅野博 鈴木彦彌 山崎勝榮 小松多嘉 鈴木久彌 高木長俊 山下竹千代
- △湯本 白石義雄 楢本春吉 大木慶三 大竹兵造 奥山雄 高木精一 矢吹正位
- △磐崎 蛭田武 高木正精 大平彌七 小泉萬尾 高木太郎 磯上友治 鈴木武八郎 大和田保榮 酒井倉松

五百年紀念

今晚から大賑

石城郡豊間村淨應寺にては本十一日に開基五百年紀念の大法要を催すことになり本日午後六時から豊間青年應援の余興があり非常な賑はひを呈するであらう尙講演には鈴木積善、同應善、阿部崇順の諸師が來會する

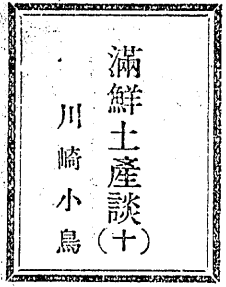
豊間淨應寺

- △江名 坂本八十吉 鈴木喬 金成政吉 佐藤留次 金成幾次郎 吉田保太郎 中山貞四郎 高津喜三郎 秋山俊太郎 永瀬清次郎 豊間 遠藤専 大塚菊次郎 松本由松 阿部春吉 志賀吉治 久保木巳之松 平七 志賀金一郎 箱崎一 佐藤忠太郎 鈴木喜光
- △夏井 木田清 箱崎米藏 鈴木國保 太田清太郎 矢吹彌右工門 鷗沼省太郎 鈴木定藏
- △飯野 山田佐吉 山野邊喜一 若松與志雄 山崎龜男 草野佑 鈴木己吉 鈴木武雄
- △神谷 木村賀重 佐藤儀三郎 志賀兼太郎 渡邊昌太郎 金成勳 木村忠直 松本光兵
- △平窪 小窪須平 鈴木徳男 阿部勘彌 矢吹昌一 福田藤一郎 松崎繁 石井名清 渡邊安明
- △下小川 柴崎一郎 大森直藏 西山幸之丞 長澤

金馬簾授與

功勞顯著な九組に對し

別項右の外九組に對して功勞顯著なる由を以つて金馬簾一條を授與されるが玉川、湯本の兩組合は各二條を授與されると



義八 鈴木平四 高木藤嗣 根本竹次郎 草野定一 赤井 岡田新平 鈴木永一 羽賀新 吉田兼夫 西山正平 平塚政藏 草野嘉久

ない悲惨な状態に陥つて居るのである
△此の、お話しにならぬ支那の状態を見て、我國を顧みれば、實に心強さを感ぜずには居られない

△タマには成程、砂利を食ふ議員や、勳章を賣る大官もある、而し如何になんでも、支那の現狀程に腐敗墮落は致して居らない氣強さがある

△結局、支那人は頼るべき軍隊や官憲を持つて居ないが、日本人は眞に軍隊や官憲に信賴して、自己の生活の基礎を固めて行く事が出来る、茲に兩國国民性の大きな相違を見るのである

△故に支那人に比較して海外の日本人が、餘りに政府に頼り過ぎるとの非難は甚だ當らないのみか、實に慘酷な非りであるといはねばなるまい

△日本人は、頼れる官憲や軍隊を持つてこそ、一層「祖國愛」の觀念が、熾烈に燃え盛り、國の爲めに身を挺すの信念が益々強いのである

△支那人は、さうゆかぬ軍隊は駄目、官憲は當てにならぬのであるから、國家觀念も程もなく、總べては自我本位に考へて、唯單に金にのみ頼る、いは、ユダヤ人の様な國民である、これだから國體は常にグラついて居る

△斯く觀じ來る時は寧ろ頼るの非りを改め、強く正しき憲と軍隊を、異境に在る邦人の背影して、

洩れぬ陣を張らしめ、枕を高く安心して、充分に在満 飽迄も頼れる政府であつて 邦人が働く事の出来る様に 仕向けねばならぬ事は言を 欲しいのである。

謹告

各位益々御清祥之段奉慶賀候陳者今般顧客本位を主眼とし同業者相互の向上を計り

平西洋料理業組合

平三業保健組合

平料理業組合

右三組合一丸となり茲に組織し「平和會」と稱し平素の御眞負顧客に酬ひたく今回開業せる藝妓置屋松の屋を專屬とし藝妓を御需めに應じ申候間何卒々々舊に倍し御愛顧之程偏に奉懇願候先は御披露旁々御挨拶まで如斯に御座候 敬具

平和會

追て組員以外の各位に於て藝妓に任用の折は左記行司事務所又は本組合員に於て取扱ひ申候間御用命被下度此段御願申上候也 平町南町拾七番地

平和會事務所

(電四三九)

市原醫院

平町田町(電話二一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

入院隨時

炭鑛の請願巡査が

續々と廢止さる

石城郡下の各炭鑛では不況對策として先づ磐城炭鑛が小野田、長倉兩坑を湯本町戸部光衛氏に鑛區を貸付け斤先堀としたのを初め最近では福島炭鑛が第七坑を除くの外直轄經營を廢した

▽斤先堀とすれば出炭高一トンに對し五十錢乃至一圓を確實に炭礦側が徴收し得る▽鑛區を賃借したものは極力人員整理を行ひ且つ濫掘をなして相當の成績をあげ収益を得ること▽會社としては労働爭議を比較的避け得る便宜があること

等の事情によるものであるが一方最近に到つては炭鑛では經營節約のため請願巡査を廢止するもの續出し昨年未來平署管だけでも内郷村白水、好間村小田、磐崎村三井、赤井村福島等四ヶ所に達してゐる

不況對策として
斤先堀が殖える

急停車

線路内の子供

昨日午後一時二分平驛發上り旅客列車が常磐線級湯本間を進行中湯本町地内の下り線路内に同町永井やす(七)の三名が石積み遊びをしてゐるのを機関士志賀二郎(三)が発見し急停車によつて危ふく轢殺を免れた

三、齋藤貞信、四、蛙田保五、土越實信
危い命に

郡下の人氣を浴びて 今日賞品贈呈式

タクシー界華やかなる頃 我社の壯舉大團圓を告ぐ 時代を劃したライン

わが社の郡下タクシー界人氣投票は去る五日大好評裡に終了し同八日當選者を發表して地方の斯界にセンセーションを捲き起したが本日正午から各當選者に對する

賞品の傳達式を本社

階上において舉行したこれより早く門傳、阿部、佐々木の各審査員、原、志賀の各來賓列席し、三九二、旭イワキの各當選者參集、先づ川崎本社長の挨拶によつて式は始められ満座の拍手に迎へられて當選順に松崎吉田、草野の諸氏が花輪或は銀盃を授與された後佐々木、門傳の兩氏から祝辭あり次いで松崎氏が授賞者側

団体試合優勝 好間と内郷

きのう公園の 武道大會成績
在郷軍人平分區主催の剣道弓術の試合は十日午後一時より平町松ヶ岡公園に於て忠魂祭典後櫻花まことに開かんとする下で櫻村慶氏外五氏の審判の下に盛大に舉行



明日のラジオ

今夜は曇り明日は南東の風晴午後から曇る

今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) うたのお稽古 佐々木さぐる
- 後六、三〇 最新自然科学講座「發明と日本の文化 第十一講」小野俊一
- 後七、〇〇 全國ニュース
- 氣象通報 告知事項 番組預告
- 後七、二五 記念講演「聖徳太子と永遠の平和」高島米峰
- 後八、〇〇 浪花節「警官の涙」藤原武徳
- 後八、三〇 尺八「打換虚鈴」水野呂童 大久保甲童
- 後八、四五 小唄小林喜舞 三味線佐藤童子
- 後九、〇〇 大衆物語「文久奇聞松五郎捕物帳の内二」栗島狭衣
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組預告 告知事項
- 明日の部
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 營養料理「燗和肉ランワロウ」營養研究所
- 前九、三〇 子供の時間お話「クランク仕掛の玩具」藤五代策
- 前一〇、〇〇 修養講座「融合と生長の源理」武内了温
- 前一〇、〇〇 講演「我國

午後五時頃福島炭鑛専用線軌道車に遊戯中突然動き出した爲めその下敷となり無残な即死を遂げた

七百圓の詐欺

平町 仲間町湯上南(三)は東京府

大阪から遙々と 徒歩旅行家来る

ボーイスカウトの團服で 今日正午頃本社を訪問

本日正午頃ボーイスカウトの團服を装ふた一名の青年が本社へ訪れてサインを求めたがこれは大阪市港區夕風町一丁目藤田豊定(三)とて去月十八日大阪朝日新聞社前を午後一時に出發し途中徒歩を以て當地まで来た徒歩旅行家であるが分厚いサインブックをかへて

上代に於ける疫病の話」山崎佐

の行進曲「花」B Kコードモ

- 正午 時報 氣象通報 今日午後の番組預告 告知事項
- 後〇、三〇 全國ニュース
- 後〇、四〇 獨唱「カルメン花の唄」獨唱川崎豊
- ピアノ伴奏エンリコロツシイ
- 後一、〇〇 マンドリン獨奏「主題と變奏曲」中桐朝彦
- ピアノ伴奏君島愛子
- 後一、二〇 浪花節「淺妻船」妻川歌燕
- 後二、〇五 幸若舞「安宅」松尾重藏他
- 後三、三五 映畫物語「白魔」山野一郎 伴奏指揮彭城昌平
- 後三、三〇 運動競技野球試合状況「ロシアンズ対對門戦」
- 後三、四〇 氣象通報
- 後三、五〇 經濟市況
- 後六、〇〇 子供の時間春
- 後六、三〇 放送映畫劇「愛と人類と共にあれ」日本篇 配役上山草人、岡田時彦、鈴木傳明、田中絹代外大勢 伴奏指揮島田晴豊
- 後八、三〇 ジャズ「デキシーランド、ワンステツプ」大阪ジャズバンド 指揮金馬雄策
- 後九、〇〇 大衆物語「文久奇聞松五郎捕物帳の内一發の銃聲」(三)栗島狭衣 音樂係數名
- 後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組預告 告知事項

鐵ビン窃盗

直ちに御用 平町久保町二七、農崎助(三)は十日午後七時頃平町長橋町清野古物店方より鐵ビン一個を窃取し直ちに平署に逮捕された

貰つて重寶 贈つて便利な 井三の券品商 店服吳井三

暖くなつて参りました、御一家様にはお健やかに御消光の事とお慶び申し上げます。扱て私事平町田町六十番地明雲堂眼科醫院開院中は公私共に多大の御芳情を賜り厚く御禮申上げます。今回同所は新妻孝之助氏に譲渡しまして肩書地に移轉致しました。近日中開院の豫定で御座いますから従前通り御交誼御指導の程幾重にもお願い申上ります。先づは移轉の御挨拶まで。

昭和六年四月 福島縣石城郡泉村大字泉 吉田芳太郎

